

**千葉大学医学部附属病院で
「高深度プロテオミクスを用いた小児リウマチ性疾患の病態解明
および新規バイオマーカー探索」の研究に参加された
患者の皆様、ご家族の皆様へ**

2024年6月19日

小児科

小児科では、「唾液プロテオミクスを用いた小児期シェーグレン症候群の早期診断分子パネルの開発」に関する研究を行っており、以下に示す方の試料や診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に試料・情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

過去に小児科で以下の研究に参加された方

「高深度プロテオミクスを用いた小児リウマチ性疾患の病態解明および新規バイオマーカー探索」

1. 研究課題名

「唾液プロテオミクスを用いた小児期シェーグレン症候群の早期診断分子パネルの開発」

2. 研究期間

2024年承認日～2026年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

研究の目的：

小児期シェーグレン症候群を早期に診断するための病気に関連した唾液中のタンパク質を検出する

研究の方法：

シェーグレン症候群と診断された患者さん、もしくは免疫疾患にかかったことがない
その他定期通院中の患者さんの唾液を用いて、プロテオミクスという方法でタンパク質
を詳細に調べます。成人のシェーグレン症候群患者さんや健常な人の唾液成分と比較す
ることで、シェーグレン症候群患者さんで増加・減少しているタンパク質を探します。
患者さんの症状や検査結果などの情報と合わせ、診断や病気の評価に役立つバイオマ
ーカーとなりうるタンパク質を検出していきます。

本研究においては、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究 ID に置き換えた試
料・情報は千葉大学小児病態学研究室及びかずさ DNA 研究所に提供され、解析がおこな
われます。氏名等と研究 ID との対応表は外部には提供されません。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：外来時に行われた血液検査の残り、唾

情報：診療録に記載されている身長、体重、年齢、性別、病歴、症状、血液検査値

5. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

研究代表機関名	研究代表者
千葉大学医学部附属病院 小児科	佐藤 裕範
共同研究機関名	研究責任者
千葉県こども病院 アレルギー・膠原病科	富板 美奈子

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた試料・情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、ど
なのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院小児科および各研究機
関において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、
個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等
に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事
ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細
については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に試料・情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥精司）

小児科 医師 佐藤 裕範

043（222）7171 内線5364